



年 組 名前

# 道新 ワークシート

サクラマスの上を観察する標津小4年生



## サクラマス遡上「すごい！」

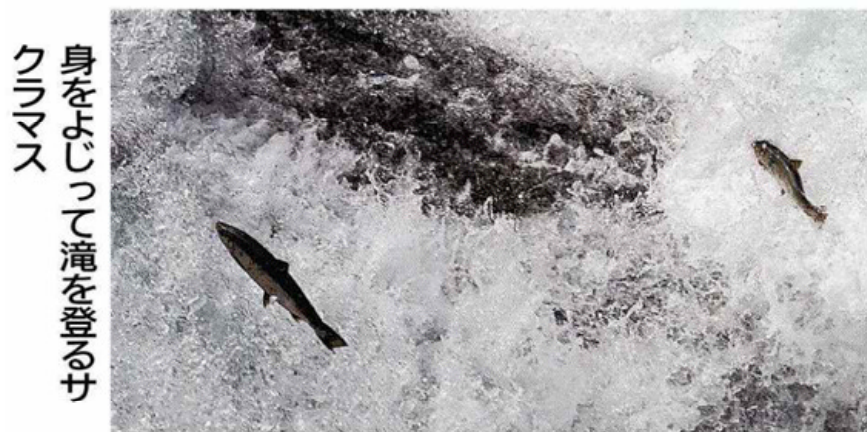
標津小児童 忠類川で観察

【標津】標津小学校の4年生26人が1日、町内の忠類川上流で、産卵のため遡上するサクラマスを観察した。サクラマスが身をよじって滝を登ると、子どもたちは「頑張って」「すごい」と声援を送った。

子どもたちは、標津サーモン科学館の西尾朋高副館長からサクラマスの一生について説明を受けた。川の上流にすむヤマメのうち、ほとんどの雌と成長の遅れた雄が海に下ってサクラマスと呼ばれることや、海で1〜2年間過ごし、4〜7月に川に戻って8〜9月に産卵することを学んだ。

子どもたちはロープを伝って急斜面を下り、忠類川の「金山の滝」の滝つぼ付近に移動して岸からサクラマスを観察。対岸にいたキタキツネが、滝登りに失敗して岸に落ちたサクラマスを捕らえる様子も見た。

A さん(9)は「初めて遡上を見た。卵を産むために大変な思いで滝を登っており、諦めないで頑張っていると思った」と話した。(田中華蓮)



身をよじって滝を登るサクラマス

2022年7月2日(土)朝刊 地方 釧路・根室版 14ページ(記事は再編集しています)

①サクラマスと呼ばれるのは、どのようなヤマメですか。文中の言葉を使って書きましょう。

②「遡上(そじょう)」の意味を説明した文章があります。( )の中の正しい言葉に○を付けて完成させましょう。

川の(上流・下流)に向かって、流れを(下って・さかのぼって)行くこと。

③サクラマスが遡上(そじょう)するのは、産卵(さんらん)のためですが、文中に「産卵(さんらん)」の意味が書かれている箇所があります。その部分を書き抜きましょう。